

# ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成27年10月分)

平成27年11月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

#### (2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

イ スルプスカ共和国(RS)

ウ ブルチュコ特別区

## 2. 外政

### (1) 多国間、国際機関

### (2) 要人往来、国際会議等

## 3. 経済

### (1) 経済指標

### (2) 経済政策、公的事業

(注: 以下は、現地紙など公開情報を取りまとめたものです。)

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

#### ● BH閣僚評議会が改革アジェンダのための15-16年行動計画を採択(6日)

同行動計画では、公共財政、租税、財政的安定性、ビジネス環境及び競争性、法の支配、ガバナンス及び公的行政の分野において改革を進めるための期日が設定された。

#### ● シリアでの戦闘行為への参加及びその斡旋容疑による初の有罪判決(6日)

BH裁判所は、BH国外における戦闘行為への参加及びその斡旋がBH刑法により違法となつてから初めて、同規定を適用し、4名に対して、シリアにおける戦闘行為への参加及びその斡旋の容疑により、第一審において懲役

1年から3年半の有罪判決を下した。

#### ● BH大統領評議会が、15年中にEU加盟申請を提出することを決定(8日)

右決定を受け、BH閣僚評議会は、27日に「EU加盟申請提出に向けたBHの準備状況に関する報告書」を採択し、15年中にEU加盟申請を提出する方針を固めた。

### (2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

#### ● BH連邦政府が公務員に関するBH連邦法改正案を採択(7日)

BH連邦政府は、公務員に関するBH連邦法改正案を採択し、緊急手続によるBH連邦議会の審議に付託した。

同改正案では、行政機関のより効率的かつ

柔軟な人事を実現するため、複数の行政機関の高官について、従来の公務員ではなく、管轄大臣による任用制度が採用される。

●BH連邦議会両院が15年度BH連邦予算の再編案を採択(8日及び9日)

BH連邦上院は8日、BH連邦下院は9日、BH連邦予算の再編案を緊急手続により採択した。再編後の予算額は、23億4,800万KM(約12億ユーロ)で、当初予算から1,430万KM(約731万ユーロ)の増額となった。

右予算再編は、特に、IMFによる融資が受けられなくなったことを、民間銀行からの融資で補填する目的で行われた。

●民主行動党(SDA)及びより良い未来のための連合(SBB)が連立協定に署名(19日)

イゼトベゴビッチSDA党首とラドンチッチSBB党首は、全レベルの政権において協力することを記した連立協定に署名した。両政党は、最初にBH連邦政府の再編に着手することを表明した。

●BHのための党(SBiH)が、BH連邦レベルにおける連立残留を決定(20日)

SBiH幹部委員会で、同党はSDAとのBH連邦における連立を維持することを決定した。

同党の残留により、BH連邦における連立は、SDA、クロアチア民主同盟BiH(HDZ・BiH)、SBB、SBiH、民主活動党(A-SDA)によって構成され、BH連邦下院では98議席中62議席、BH連邦上院では54議席中28議席を保持する。

●BH連邦議会両院で公務員に関するBH連邦法改正案が審議される(23日)

公務員に関するBH連邦法改正案は、BH連邦下院で賛成多数により採択された。

同日、BH連邦上院でも同改正案が緊急手続によって審議され、賛成多数となったが、同院の社会民主党(SDP)、独立社会民主主義者連合(SNSD)及び民主主義戦線(DF)に所属するセルビア系議員団が「民族の死活的利益(VNI)」に基づく拒否権の申立てを行ったため、採択は保留となった。今後、意見の調整が成功しなければ、本件はBH連邦憲法裁判所VNIパネルによるVNIの侵害の有無に関する審議に付託される。同パネルがVNIの侵害を認めた場合、同改正案は否決される。

●BH連邦下院が、BH連邦政府の新閣僚4名を承認(28日)

BH連邦下院は、賛成多数により、SBB所属のBH連邦政府新閣僚4名(ドルリャチャBH連邦副首相兼労働・社会問題大臣、ジャポ同環境・観光大臣、ブヤノビッチ同通商大臣、ジンディッチ同エネルギー・鉱業・産業大臣)の就任を承認した。

新閣僚4名の承認に先立ち、チャバラBH連邦大統領は、保留となっていたDF所属閣僚2名の辞任を受理した。

イ スルブスカ共和国(RS)

●RS民族評議会ボシュニャク議員団が、RS国民議会による住民投票委員会に関する決定に対して「民族の死活的利益(VNI)」に基づく拒否件の申立て(1日)

1日、RS民族評議会会合でボシュニャク議員団は、RS国民議会によるRS住民投票委員会の任命に関する決議に対して、同委員会にボシュニャク議員が含まれていないとして、「民族の死活的利益(VNI)」に基づく拒否権

の申立てを行った。

VNI に基づく拒否権の申立てにより、20日及び28日に意見の調整が試みられたが、調整は共に失敗に終わり、申立ては RS 憲法裁判所に付託された。

#### ●RS政府が3億米ドルを借り入れる決議を採択(9日)

RS 政府は、米企業「Global Bancorp Commodities and Investment, Inc.」から3億米ドルを借り入れることを決定した。同資金は、15年及び16年度通常予算及びRS開発投資銀行の資本増強に利用される。

16日、チャービッチ国民民主運動(NDP)党首は、借入れにはRS国民議会による採択が必要であるため、RS政府による決定が違憲であるとして、RS憲法裁判所への申立てを行った。

#### ●RS国民議会特別会合で、BH国家機関の「RS代表」に関する決議が採択される(20日)

RS国民議会特別会合では、「RSの憲法的地位及びBH国家機関レベルにおけるその利益の保護」と題した決議が賛成多数(83議席中、賛成43)で採択された。

同決議は、BH国家機関にRSから選出された代表者らは、RSの権益に関わる事項についてRS機関と直接協議し、BH国家レベルの立法行為の前にRS国民議会の関連委員会と必ず意見を調整するよう要求している。また、同決議では、RSからBHへの「不当な」権限移譲に刑事責任を問うRS刑法改正案を90日以内に作成するようRS政府に要請している。

#### ウ ブルチュコ特別区

#### ●ブルチュコ特別区上訴裁判所が、15年度同特別区予算の採択手続が同特別区憲章に反していたとして、同予算を無効にする判断を下す(6日)

ブルチュコ特別区上訴裁判所は、15年度同特別区予算の採択時に、クロアチア系議員の出席数が同特別区憲章に定める要件を満たしていなかったとして、判決の官報掲載をもって、同予算を無効とする判断を下した。

同判決を受け、20日、ブルチュコ特別区議会は、15年10月19日から同年12月31日までの暫定予算を採択した。

## 2. 外政

### (1) 多国間、国際機関

#### ●エネルギー共同体が、義務の不履行によってBHに制裁を課すことを決定(16日)

エネルギー共同体閣僚会議において、BHに対して、特定の意思決定プロセスに参加する権利を停止する制裁を課すことが決定された。更に、BHは、国家レベルのエネルギー戦略を採択していないことで、今後EUからのエネルギー分野における財政支援が停止される可能性もある。

### (2) 要人往来、国際会議等

#### ●チャービッチBH大統領評議会議長がニューヨークにおいて、アブドゥラー2世・ヨルダン国王及びライチャーク・スロバキア副首相兼外務・欧州問題大臣と会談(1日及び2日)

チャービッチBH大統領評議会議長及びアブドゥラー・ヨルダン国王は、両国関係は高いレベルを維持しており、経済分野で更に関係を深化するために取り組むべき点で意見を共に

した。アブドゥラー国王は、チョービッチBH大統領評議会議長にヨルダンへの訪問を呼びかけた。

ライチャーク副首相兼外相との会談で、チョービッチBH大統領評議会議長は、BHにおける政治情勢及び改革の進展について伝えた。ライチャーク副首相兼外相は、BHのEU加盟及び改革のための行動を歓迎し、支持を表明した。

#### ●イバニッチBH大統領評議会メンバーがソフィアでイヴァノフ・マケドニア大統領と会談(9日)

イバニッチBH大統領評議会メンバーとイヴァノフ・マケドニア大統領は、両国の政治経済状況と、EU加盟に向けた条件達成のための行動について協議した。イバニッチBH大統領評議会メンバーは、16年初頭にEU加盟申請を提出するとイヴァノフ・マケドニア大統領に伝えた。また、両名は移民及び難民問題についても協議した。

#### ●ツルナダクBH外相のカタール訪問、タミーム・カタール首長、アブドゥラー・カタール首相及びアティーヤ・カタール外相らと会談(13日及び14日)

ツルナダクBH外相は、それぞれの会談の中で、BHのEU加盟プロセスの進展状況や、政治及び経済状況を説明、特に「コネクティビティ」アジェンダやベルリン・プロセスを進める中で、カタール人投資家によるインフラ分野への投資の機会が存在すると伝えた。また、16年にサラエボで開催予定のBH・カタール・ビジネスサミットへのカタール人投資家の参加を呼びかけた。

会談中、カタール政府が中小企業を直接支

援する友好基金を設立することが伝えられた。また、近日中にサラエボ・ドーハ間を結ぶ直行便が就航することが確認された。

会談では、両国間の関係を拡大するための枠組みについても協議された。

#### ●ザオラーレク・チェコ外相のBH訪問、チョービッチBH大統領評議会議長と会談(15日)

チョービッチBH大統領評議会議長は、ザオラーレク・チェコ外相に対してBHの政治及び経済情勢を説明し、15年中にEU加盟申請を提出する予定を伝えた。ザオラーレク・チェコ外相は、BHが昨年末に現状維持を打破したことを歓迎し、改革アジェンダの重要性を強調した。

#### ●チョービッチBH大統領評議会議長が、ブラッセル訪問中にドール欧州人民党(EPP)党首と会談(16日)

チョービッチBH大統領評議会議長は、BHのEU加盟に向けた現状についてドールEPP党首に伝え、15年中にEU加盟申請を提出する意思を伝えた。ドールEPP党首は、BHのEU加盟に向けた支持を伝え、その努力を歓迎した。

#### ●イバニッチBH大統領評議会メンバーがベオグラードを訪問し、プッチ・セルビア首相と会談(19日)

両名は、両国間の隣国関係及び経済協力の向上へのコミットメントを表明し、域内の政治的及び経済的安定を維持することが、両国の発展に重要であると強調した。両名は、11月4日にサラエボで予定されているBH閣僚評議会とセルビア政府の初となる合同閣議を重視する姿勢を見せた。

ベオグラード訪問中、イバニッチBH大統領評議会メンバーは、チャデジ・セルビア商工会議所会頭とも会談し、農業、エネルギー、軍事産業分野における経済協力について協議した。

●チョービッチBH大統領評議会議長がマドリードにおける欧州人民党(EPP)党大会に参加(21日及び22日)

EPP党大会では「EPPの価値とEUの外交政策」というテーマのもと、移民問題等が協議された。

チョービッチBH大統領評議会議長は総会における演説で、15年はBHにとって新たな道を拓き、EU加盟プロセスが進行中であると同時に、NATO加盟プロセスも進める意思があると述べた。また、選挙法の改正、欧州人権裁判所の「セイディッチ・フィンチ事件」判決の履行及びBH憲法の改正が重要であり、クロアチア系市民の平等を確保することのみ、BHの安定性が保たれると述べた。

### 3. 経済

#### (1) 経済指標

●GDP(予測)

IMFは、BHのGDP成長率に関して、15年は2%、16年は3%となると予測し、4月の予測(15年2.3%、16年3.1%)から下方修正した。

●産業生産高

BH統計局の発表によると、15年9月の産業生産高は、15年8月と比較して、0.4%の減少。14年9月との比較では1.7%の上昇。

●雇用／失業者数

BH統計局の発表によると、15年8月のBH全体の雇用者数は712,561人、失業者数は540,886人で失業率は43.1%となった。

●平均給与

BH統計局の発表によると、15年8月のBHにおける平均給与は826KMだった。

●消費者物価指数

BH統計局の発表によると、15年9月は、15年8月と比較して、消費者物価指数は0.1%下落。年間比較では、1.8%下落した。

●銀行部門

BH中央銀行によると、15年8月にBH国内の銀行が提供した融資総額は170億8,000万KM(約87億3,000万ユーロ)で、14年8月と比較して2.1%の上昇。国内銀行への預金総額は159億6,000万KM(約81億6,000万ユーロ)で、14年8月と比較して5.2%の上昇。

●貿易額

BH統計局の発表によると、15年1月から9月までのBHの輸出額は66億8,900万KM(約34億2,000万ユーロ、14年同時期と比較して4.2%増)、輸入額は117億9,000万KM(約60億2,100万ユーロ、14年同時期と比較して1%減)。

・輸出相手国上位5カ国(貿易額、15年1月から9月):①ドイツ(10億5,100万KM/約5億3,700万ユーロ)、②イタリア(9億2,400万KM/約4億7,200万ユーロ)、③クロアチア(6億9,800万KM/約3億5,700万ユーロ)

口)、④セルビア(5億8,900万KM/約3億100万ユーロ)、⑤オーストリア(5億7,000万KM/約2億9,000万ユーロ) 参考:日本(95万5,000KM/約48万8,000ユーロ)・輸入相手国上位5カ国(貿易額、15年1月から9月):①ドイツ(14億1,500万KM/約7億2,300万ユーロ)、②イタリア(12億9,100万KM/約6億6,000万ユーロ)、③セルビア(12億7,900万KM/約6億5,400万ユーロ)、④クロアチア(12億4,900万KM/約6億3,900万ユーロ)、⑤中国(8億1,800万KM/約4億1,800万ユーロ) 参考:日本(8,418万KM/約4,304万ユーロ)  
\* 上記数値はいずれも原産国及び仕向国による算出。

#### ●観光客数

BH統計局の発表によると、15年8月、BHには124,053人(うち日本からは666人)の観光客が訪れ、15年7月と比較して19.6%増加。14年8月と比較して20.6%増加した。

## (2)経済政策、公的事業

#### ●英政府が西バルカンにおける難民移民支援に300万ポンド(約425万ユーロ)をプレッジ(12日)

同プレッジは、西バルカン各国政府による受入れ及び登録プロセスの支援を目的としており、うち30万ポンドがUNHCRサラエボ事務所に出され、食糧、非食糧品、シェルター、登録プロセス支援等に利用される。

#### ●独が、BHの水力発電所再建を条件に、2,000万ユーロの債務帳消しを表明(13日)

駐BH独大使は、再生可能エネルギー分野を重要視し、BHがトレビニェ及びラマの水カ

発電所の再建に400万ユーロを投資することを条件に、BHの対独債務2,000万ユーロを帳消しにする意向を発表した。

#### ●BH、セルビア及びトルコによる三カ国ビジネスフォーラムがサラエボで開催(20日)

同ビジネスフォーラムで、シャロビッチ BH 副首相兼対外貿易経済関係大臣は、16年にはBHのセルビア及びトルコとの貿易額が、それぞれ10億ユーロ及び5億ユーロに達するとの見方を示した。

#### ●欧州復興開発銀行(EBRD)が「Aluminij」社の再建プロセスに参加する可能性が示される(22日)

「Aluminij」社は、EBRDが同企業の再建プロセスに参加する可能性について協議したと認めた。また、「Aluminij」社の生産力向上のためのEBRDによる資金提供も協議された。

## (3)民間企業

#### ●トウルノボにおける複合観光都市「Buroj Ozone」に関するプレゼンテーション(11日)

初期投資額約10億米ドル相当、敷地面積137ヘクタールの複合観光都市「Buroj Ozone」建設事業の実施開始に際するプレゼンテーションが実施された。同計画にはBH、欧州及びアラブ首長国連邦の投資家に参加していると伝えられた。

#### ●合弁企業「INA-MOL」社がBHにおける原油及びガスの調査に意欲(13日)

BH連邦政府は、クロアチア及びハンガリーの石油ガス会社「INA」社及び「MOL」社による合弁企業が、シェル社の撤退以降、同地における石油及びガスの埋蔵調査について意

欲を示していると発表した。

●複合リゾート施設「Sarajevo Resort」が開所(17日)

ハジッチ市において、イゼトベゴビッチBH大統領評議会メンバーと Kanderi「Gulf Real Estate Ltd.」社創設者が、「Sarajevo Resort」の開所式に参加。同リゾートは1,125人の観光客が滞在でき、ハジッチ市広報によると、同リゾートの建設に5,000万KM(約2,560万ユーロ)以上が投資された。

●ムーディーズ社によるBH経済分析(30日)

ムーディーズ社の報告書は、BHの政治システムの複雑性により行政の効率性は阻害されつつも、改革の進展によってBHの経済成長が見込めると伝え得た。また、高い失業率、財政赤字、外部資本市場へのアクセスの制限によってBHの信用は制限されるが、改革アジェンダの進展によって、失業率の低下と国内外需要の促進が見込めるとし、16年には約3%の成長が達成出来ると予測した。同社は、複雑な政治構造と国内におけるコンセンサスの不在により、BH国内機関は脆弱であると評価する一方、BH中央銀行については、比較的安定したインフレ率を保ち、機能的な機関であると認めた。

(了)